

YOROZU

2025年度 決算説明会

東京証券取引所プライム（証券コード：7294）

代表取締役社長 平中 勉

目次

- I. 2025年度 業績
- II. 2026年度 業績予想
- III. 株主還元
- IV. トピックス
- V. 2026年度 活動方針

I.2025年度 業績

2025年度連結決算概要説明

前期比

- ◆ **売上高** 日本・アジアの生産台数減、米州の円高に伴う為替換算影響や金型売上減少などにより減収
- ◆ **営業利益** 売上減少に伴う減益や、YSMC本社工場フル生産に向けた準備費用などがあったものの、グループ全社で推進した「Success 25V」合理化活動や品質改善などにより増益
- ◆ **当期純利益** 営業利益の改善等により増益

前回公表値(26年2月13日) 差異

- ◆ **売上高** 円安による為替換算影響に加え、主に日本セグメントでのコスト回収などにより増収
- ◆ **営業利益** 前期はサイバー攻撃により停滞を余儀なくされた合理化活動が、「Success 25V」の大きな伸長等により増益
- ◆ **当期純利益** 営業利益の改善等により増益

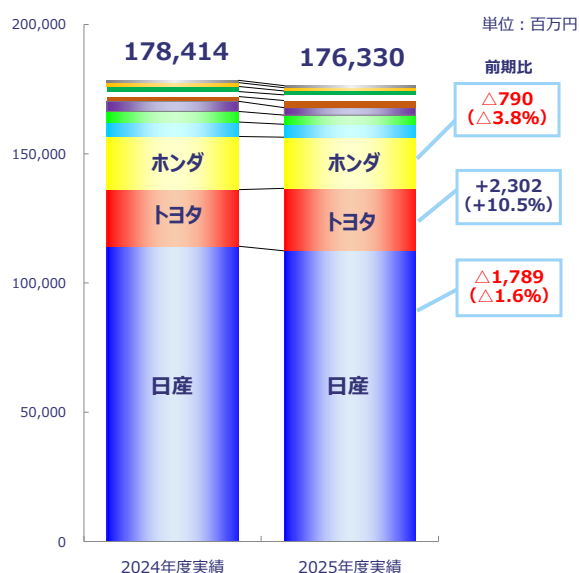
2025年度連結決算概要（前期比）

単位：百万円	2024年度	2025年度 直近予想※2	2025年度	前期比	前回公表値比 増減額（率）
売上高	178,414	169,000	176,330	△2,084 (△1.2%)	+7,330 (+4.3%)
営業利益	298	2,600	3,980	+3,682 (13倍)	+1,380 (+53.1%)
経常利益	△2,077	1,800	3,776	+5,853 (-- %)	+1,976 (+109.8%)
当期純利益※1	△13,448	800	2,075	+15,523 (-- %)	+1,275 (+159.4%)

※1 親会社株主に帰属する当期純利益 ※2 2026年2月13日時点予想値

	2024年度 A	2025年度 B	増減額 B-A	増減率
一株当たり当期純利益	△551円45銭	+90円79銭	+642円24銭	--
連結取り込みレート	151円68銭 / \$	149円65銭 / \$	△2円03銭 / \$	△1.3%

連結得意先別売上高（24年度実績 対 25年度実績）



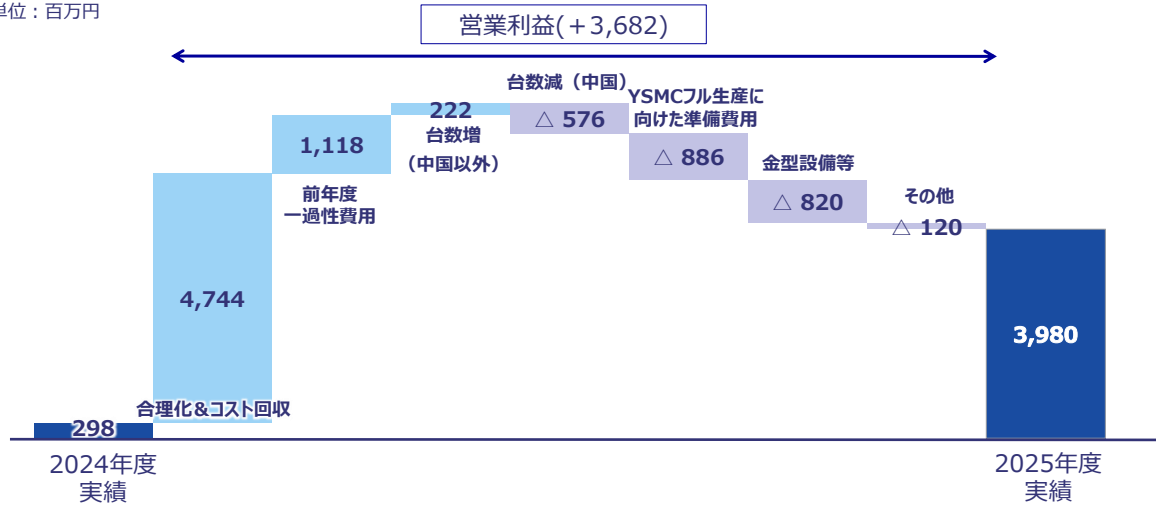
得意先	2024年度	シェア(%)	2025年度	シェア(%)
日産 Gr ※	114,233	64.0%	112,444	63.8%
トヨタ Gr	21,875	12.3%	24,177	13.7%
ホンダ	20,573	11.5%	19,783	11.2%
いすゞ	5,597	3.1%	4,986	2.8%
マツダ	4,106	2.3%	3,545	2.0%
VW	3,925	2.2%	2,896	1.6%
SUBARU	1,830	1.0%	2,750	1.6%
クボタ	1,936	1.1%	2,193	1.2%
Mercedes Benz	1,973	1.1%	1,517	0.9%
スズキ	1,480	0.8%	1,244	0.7%
その他	886	0.6%	795	0.5%
合計	178,414	100.0%	176,330	100.0%

※ ルノー・三菱向け売上含む

トヨタ向けが伸長

連結営業利益の増減要因分析 (24年度実績 対 25年度実績)

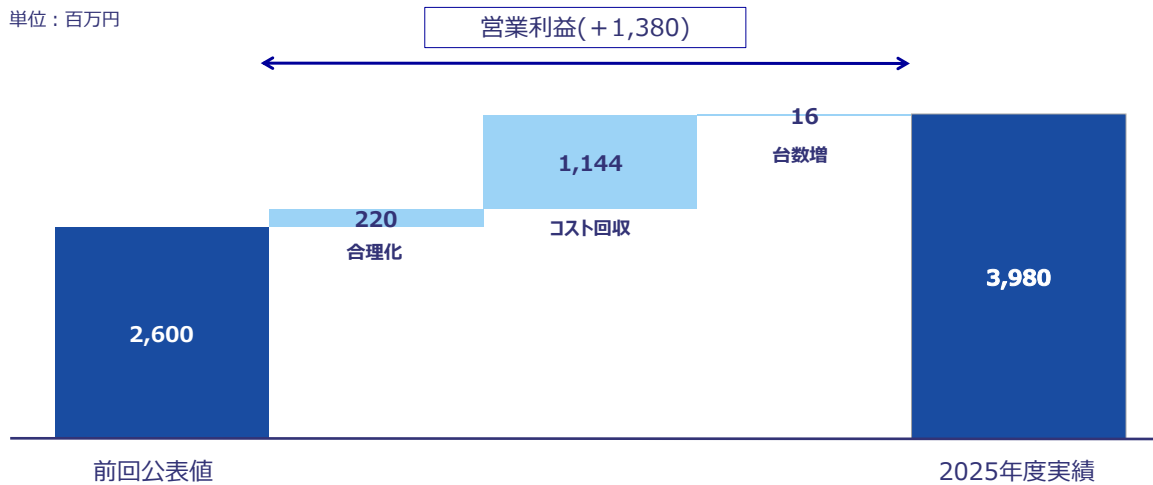
単位：百万円



中国台数減影響・YSMCフル生産に向けた準備費用等あったものの、「Success 25V」合理化改善活動の推進等により増益

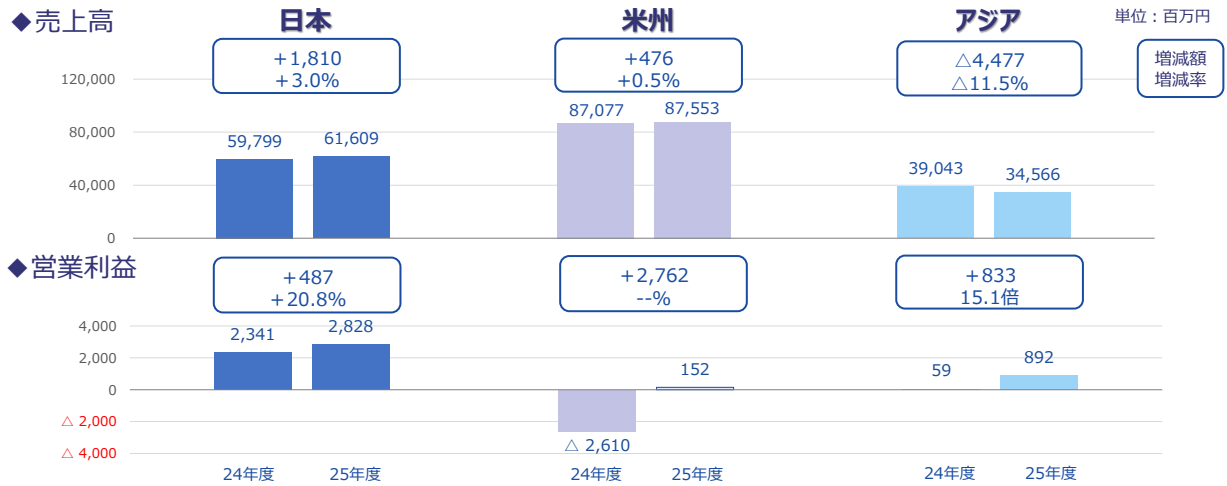
連結営業利益の増減要因分析 (前回公表値 対 25年度実績)

単位：百万円



コスト回収及び「Success25V」合理化改善活動等により増加

地域別売上高・営業利益 連結調整前 (24年度実績 対 25年度実績)



- ◆ 日本 YSMCフル生産に向けた準備費用等があったものの、Success25V合理化改善効果により増収・増益
- ◆ 米州 金型売上減等があったものの、生産台数増加およびSuccess25V合理化改善効果により増収・増益
- ◆ アジア 生産台数減影響をSuccess25V合理化改善効果により吸収し減収・増益

財務状況 2026年3月期

(単位：百万円)	2025年3月末 A		2026年3月末 B		前期比(B-A)		
自己資本		52,009		54,154	2,145	4.1%	
自己資本比率		38.1%		39.2%	--	--	
有利子負債	DEレシオ	0.82	42,763	0.80	43,348	585	1.4%
NET有利子負債	NET DEレシオ	0.29	14,833	0.25	13,581	△1,252	△8.4%
総資産		136,601		138,258	1,657	1.2%	
(単位：百万円)	2025年3月期 通期累計 A		2026年3月期 通期累計 B		前期比(B-A)		
営業キャッシュフロー		4,742		8,034	3,292	69.4%	
投資キャッシュフロー		△11,814		△1,846	9,968	--	
財務キャッシュフロー		6,758		△3,143	△9,901	--	

適切な資金調達計画でDEレシオは健全な状態を維持

(ご参考) 連結貸借対照表の概要 2026年3月期

単位：百万円	2025年3月末 A	2026年3月末 B	増減 B-A		
流動資産	81,159	81,649	490	現預金	1,838
固定資産	55,441	56,608	1,167	受取手形及び売掛金	387
資産合計	136,601	138,258	1,657	棚卸資産	△779
				未収入金	△864
流動負債	51,292	42,029	△9,263	有形固定資産	260
固定負債	24,105	32,175	8,070	投資その他の資産	839
負債合計	75,397	74,205	△1,192	支払手形及び買掛金	△1,659
株主資本	44,036	41,648	△2,388	電子記録債務	△871
その他の包括利益累計額	7,973	12,506	4,533	短期借入金	△684
非支配株主持分他	9,193	9,898	705	1年内返済予定の長期借入金	△6,609
純資産合計	61,204	64,053	2,849	その他	654
負債・純資産合計	136,601	138,258	1,657	長期借入金	7,662
				その他	417
				当期純利益	2,075
				配当支払	△753
				自己株式	△3,667
				その他有価証券評価差額金	660
				為替換算調整勘定	3,832
				退職給付に係る調整累計額	41

Ⅱ.2026年度 業績予想

2026年度連結業績予想の概要

- 事業環境** 【1】中東情勢の緊迫による原油・エネルギー価格の高騰などの不透明な経済見通し
 【2】米国における外交・通商政策動向

環境変化が26年度に及ぼす影響の予想値織込み状況

【1】中東情勢

- 中東向け生産台数の減少
- 原油由来原材料価格の高騰

織込済

【2】米国外交・通商動向

- 顧客の国内外から米国内工場への生産移転等による影響
- 米中対立による経済、サプライチェーンへの影響

引き続き
注視

2026年度連結業績予想の概要

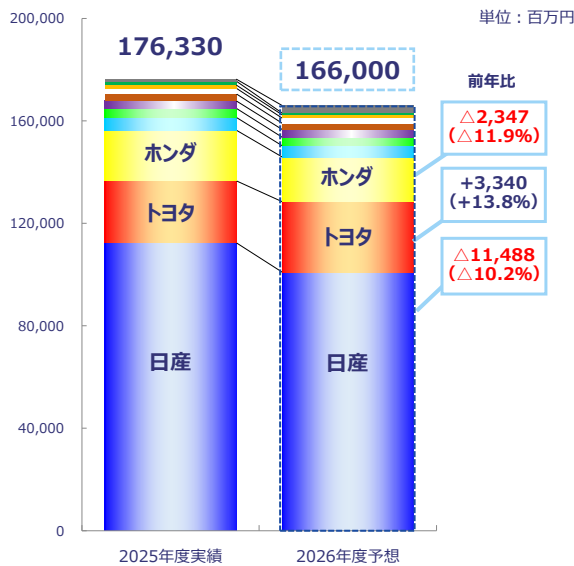
単位：百万円	2025年度 実績 A	売上高 比率	2026年度 予想 B	売上高 比率	増減額 B-A	増減率
売上高	176,330	100.0%	166,000	100.0%	△10,330	△5.9%
営業利益	3,980	2.3%	3,300	2.0%	△680	△17.1%
経常利益	3,776	2.1%	2,100	1.3%	△1,676	△44.4%
当期純利益 ※ 1	2,075	1.2%	1,100	0.7%	△975	△47.0%

※1 親会社株主に帰属する当期純利益

	2025年度実績 A	2026年度予想 B	増減額 B-A	増減率
一株当たり当期純利益	90円79銭	53円00銭	△37円79銭	△41.6%
連結取り込みレート	149円65銭 / \$	150円00銭 / \$	+0円35銭 / \$	+0.2%

- 前期に引き続きSuccess26V合理化改善活動を全社をあげて取り組む
- 新車需要の伸びが期待できない環境下にあっても営業利益率2.0%以上を目指す

連結得意先別売上高（25年度実績 対 26年度予想）



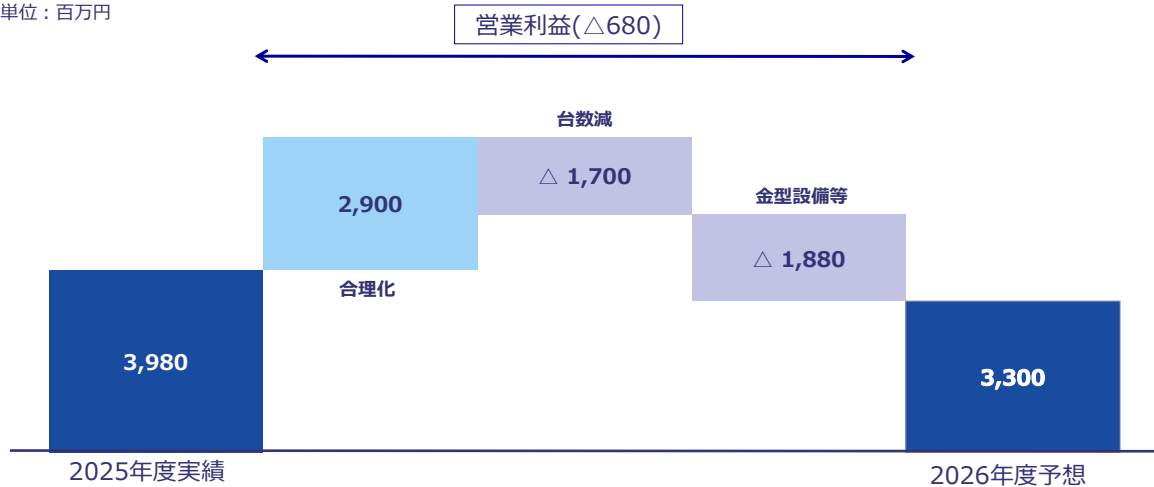
得意先	2025年度	シェア(%)	2026年度	シェア(%)
日産 Gr ※	112,444	63.8%	100,956	60.8%
トヨタ Gr	24,177	13.7%	27,517	16.6%
ホンダ	19,783	11.2%	17,436	10.5%
いすゞ	4,986	2.8%	4,403	2.7%
マツダ	3,545	2.0%	3,309	2.0%
VW	2,896	1.6%	3,032	1.8%
SUBARU	2,750	1.6%	2,437	1.5%
クボタ	2,193	1.2%	2,002	1.2%
スズキ	1,244	0.7%	1,291	0.8%
Mercedes Benz	1,517	0.9%	673	0.4%
その他	795	0.5%	2,944	1.7%
合計	176,330	100.0%	166,000	100.0%

※ ルノー・三菱向け売上含む

トヨタ向けがさらに大幅伸長

連結営業利益の増減要因分析（25年度実績 対 26年度予想）

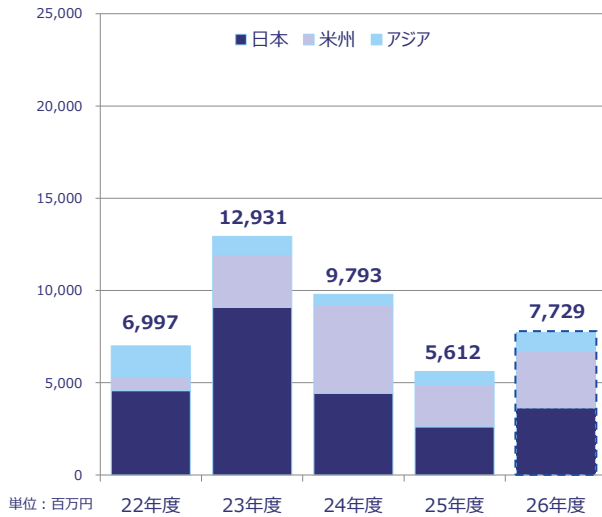
単位：百万円



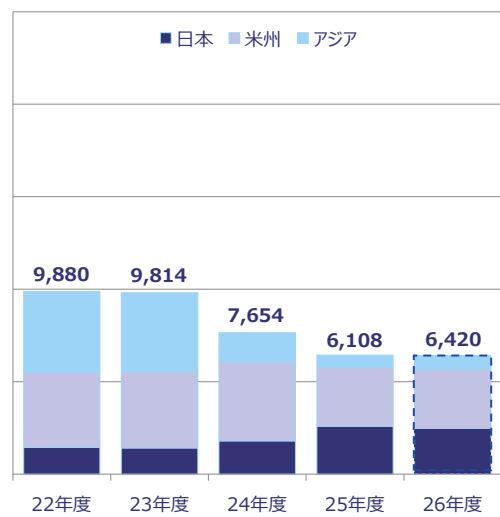
厳しい環境下にあってもYSP2026最終年度収益達成に向け全社をあげて“我武者羅”にやりきる

設備投資と減価償却費

地域別設備投資



地域別減価償却費



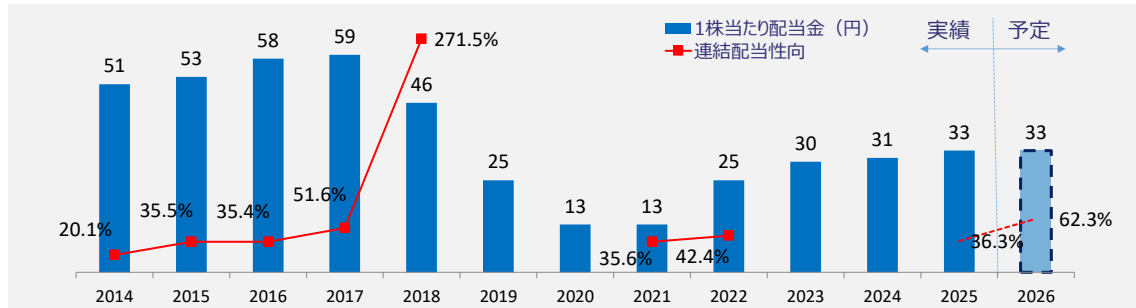
Ⅲ.株主還元

株主還元

株主支援に報いる還元政策

● 配当方針

1株当たり配当31円を下限とし、配当性向35%以上を目指す
25年度は期末配当を2円増配し、年間33円の配当へ



● 自己株式の取得

他の投資対象、手元現預金水準、業績の動向等を総合的に勘案し、適切な局面で機動的に実施。
2025年11月13日に自己株式3,706千株を市場より購入完了

IV. トピックス

トピックス (YSP2026の進捗)

方針	方策	進捗トピックス	説明
事業基盤の強化	① 新技術・新工法の創出と拡販	1) YSP2026で開発した技術は 順次量産車への適用を足早に進めていく 2) YSMC本格稼働開始(26年度はフル生産) トヨタ向けを日産に次ぐ第2の柱に	○ ○
	② 収益目標の達成	3) 年度合理化目標の達成に向けた、「GKBKシステムの開発」と「現場改善特別活動」 4) 金型リードタイム大幅短縮への挑戦 5) 非量産部品の効率的な生産システム開発中	○ ○ ○
	③ 資本効率向上	・キャッシュフローの最適化や資金繰りの検討を実施 (YSP2026方針に則った)配当の実施、自己株式取得の決定 (25/11)	
経営基盤の強化	④ E (環境対応力の向上)	・Co2排出量削減：FY26目標▲40%に対し、FY25で▲33%を達成	
	⑤ S (エンゲージメントの向上)	6) 「健康経営優良法人」の認定取得-大規模法人部門、中小規模法人部門ブライツ500 7) 優良子育てサポート企業として、「プラチナくるみん」の認定取得	○ ○
	⑥ G (ガバナンスの向上)	・取締役会実効性評価について、第三者機関による評価を実施	

トピックス：①-1) 新技術・新工法の創出と拡販

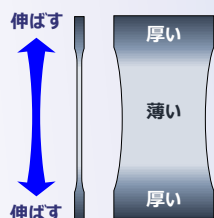
軽量化技術の更なる磨きと製品領域拡大への挑戦

YSP2026で開発した技術は 順次量産車への適用を足早に進めていく

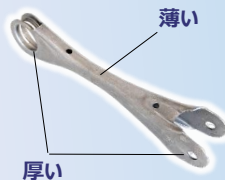
素材



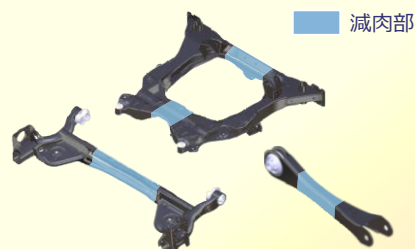
減肉成形「げんにくん」



プレス成形



製品化適用例



特許申請中
Patents Tech.

- プレス加工のみで差厚鋼板を成形
- 材料を伸ばすことで軽量化とコストダウンを両立

✓ あらゆる製品に適用

トピックス：①-1) 新技術・新工法の創出と拡販

軽量化技術の更なる磨きと製品領域拡大への挑戦

量産採用

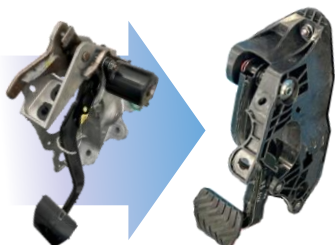
従来比35%軽量化

樹脂ブラケットを使用した
ブレーキペダル 量産開始

量産採用

従来比23%軽量化

独自の金型構造による一枚プレス化
超ハイテン鋼板LINK 量産開始



ブラケットに樹脂を採用

特許技術
Patents Tech.

日産リーフ採用



超ハイテン780MPa
鋼板を採用

特許技術
Patents Tech.

三菱自動車
アウトランダー
PHEV採用



樹脂ブラケット採用ペダル・超ハイテン鋼板LINK 様々な製品で大幅な軽量化

トピックス：①-2) 多様な顧客に向けた拡販

-ヨロズ製品採用 25年度 新規発売車種-

日産

リーフ(BEV)



ルークス



キックス



カイト



ティアナ



N6



ルノー

BOREAL



DUSTER



ホンダ

Super-ONE(BEV)



INSIGHT(BEV)



トピックス：①-2) 多様な顧客に向けた拡販

-ヨロズ製品採用 25年度 新規発売車種-

トヨタ

bZ4X(BEV)



LAND CRUISER FJ



C-HR+(BEV)



Hilux Revo



bZ4X Touring(BEV)



ピクシスバン(BEV)



スバル

SOLTERRA(BEV)



アンチャーテッド(BEV)



TRAILSEEKER(BEV)



マツダ

CX-5



ダイハツ

e-ハイゼットカーゴ(BEV)



スズキ

eエブリイ(BEV)



YOROZU

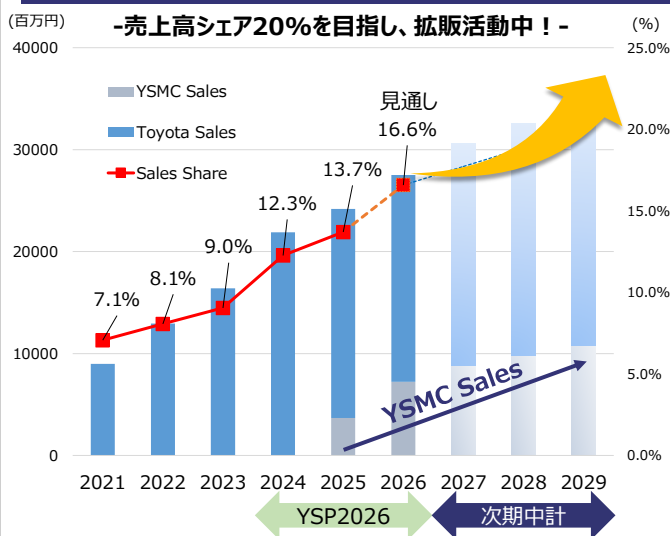
Copyright © YOROZU Corporation

25

トピックス：①-2) 多様な顧客に向けた拡販

-トヨタGr向け売上シェア 実績と見込み-

トヨタ向け売上げを、日産に次ぐ第2の柱に！



YSMC 25年度 生産開始車種

トヨタ

bZ4X(BEV)



C-HR+(BEV)



bZ4X Touring(BEV)



スバル

SOLTERRA(BEV)



アンチャーテッド(BEV)



ホンダ

Super-ONE(BEV)



2026年度よりフル生産

新車の生産開始によるYSMC本格稼働

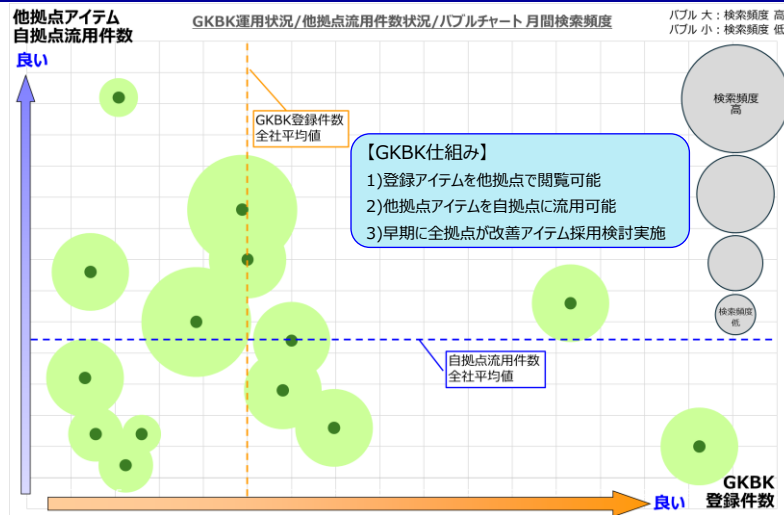
YOROZU

Copyright © YOROZU Corporation

26

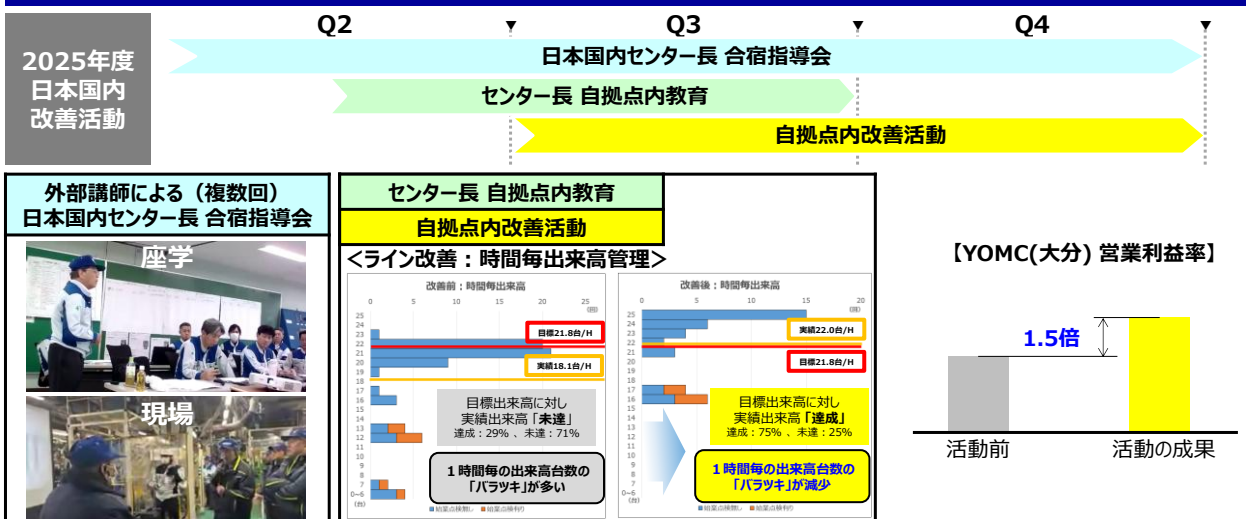
トピックス：②-3) 年度合理化目標の達成

Global Kaizen Bank(GKKB)システム開発し、改善アイテム登録件数 1,500件



トピックス：②-3) 年度合理化目標の達成

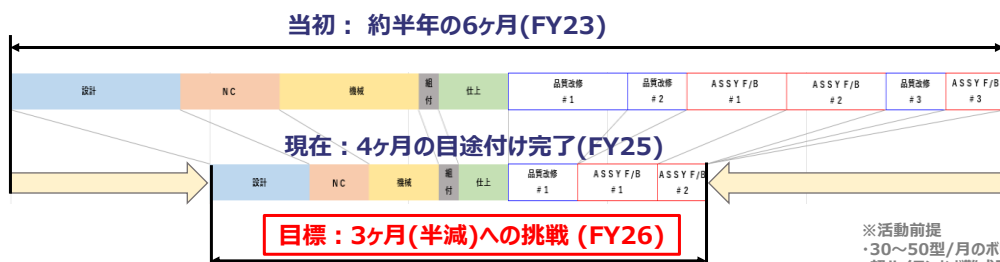
日本国内センター長主導：生産性向上 現場改善活動による年度合理化促進



トピックス：②-4) 収益目標の達成

金型リードタイム大幅短縮への挑戦

■ 金型リードタイム：設計スタート～出荷まで

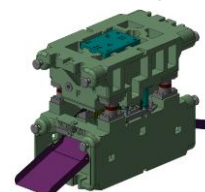


※活動前提
 ・30～50型/月のボリュームを想定
 ・超ハイテンなど難成形部品などは別途

短縮方策	
ロス改善	6件
作業改善	15件
一発良品化	12件
計	33件

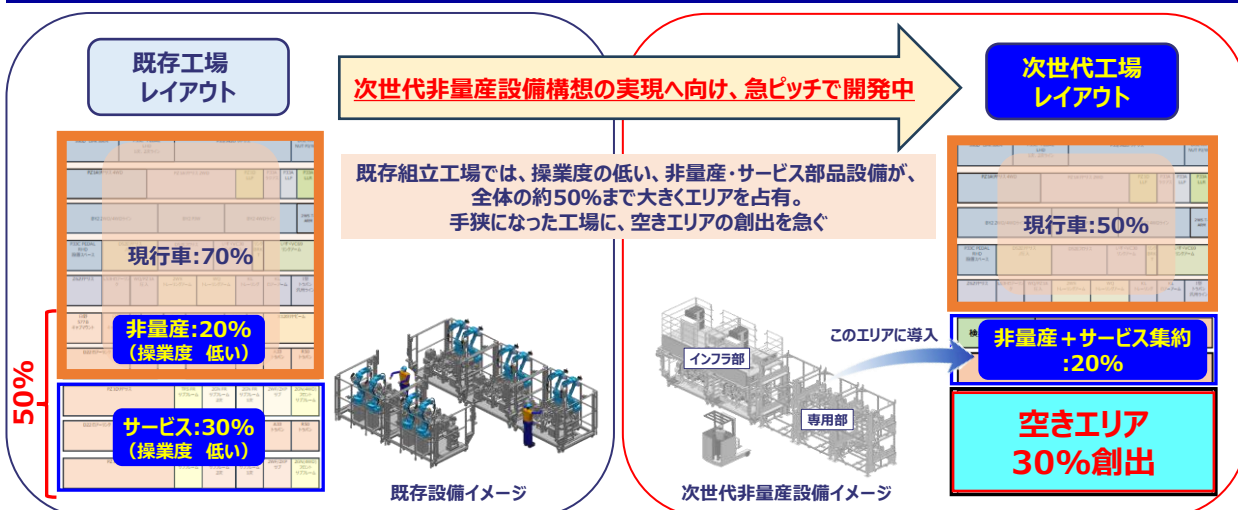


工程・原価・日程管理
専用システムで運用 (FY25～)



トピックス：②-5) 収益目標の達成

キャパシティーマネジメント：非量産部品の効率的な生産システム開発中



“人の命を守る自動車部品”で培った技術を駆使し、“鳥獣から人の命を守る”

■日時：5月8日（金）
場所：山形県 鶴岡市役所 朝日庁舎

5/8 NHK(山形放送)・山形テレビにて放送されました

■主な出席者
鶴岡市長、猟友会鶴岡支部、他

■寄贈内容
クマ・イノシシ等捕獲用 箱わな 3基
(秋までに、合計18基寄贈)

地元猟友会の意見を取り入れた試作品の特徴

- ・運搬、洗浄、メンテナンス性の向上
- ・確実に閉じ込められるような工夫 など

今後、鶴岡市での試験使用を通じ、改良を進める



3基を山中に設置済

V. 2026年度 活動方針

中期経営計画「YSP2026」の全体概要（追補版）

業績目標

売上高 2,100億円

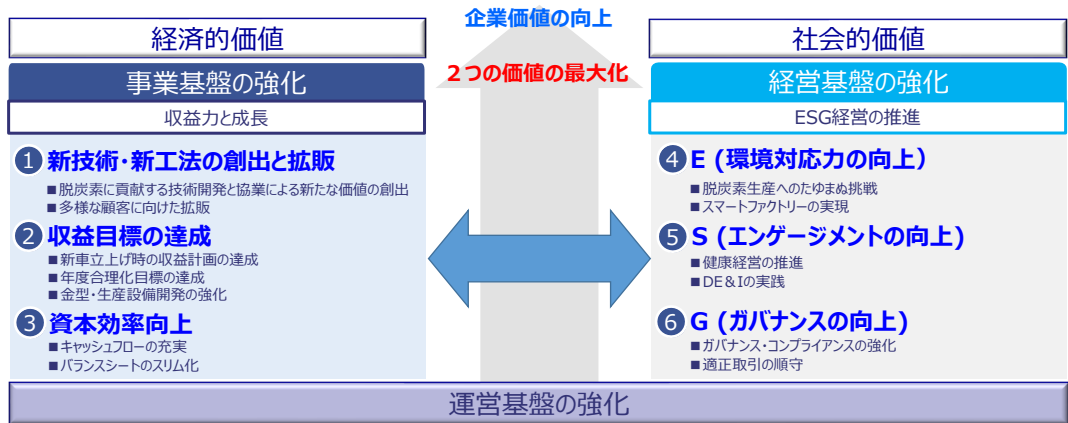
営業利益率 4.5%

ROE 8.0%

経営方針

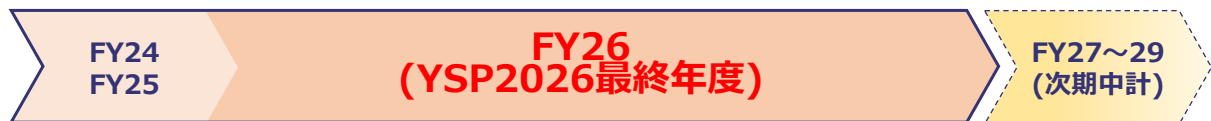
社会の一員としての責務を果たし、成長に向けた攻めの施策で電動化時代を支える存在となり、全てのステークホルダーから**「選ばれる会社」**になる

基本方針



2026年度活動方針 ～次期中計に向けて

取組みの全体像



■ 全社一丸となり、我武者羅に取り組み**“やりきる”**

・超厳しい事業環境下でも、目標達成を目指していく

■ 種を蒔き、育てた6方策の**“実りの刈り取り”**へ

・活動は継続・定着させ、次なる成長へ

・成果としての具体的アウトプットを明確にし、結果を収益に反映

(Ex. : いつ? 何のPJT? 対象製品?)

YSP2026の最終仕上げと同時に、次期中計への準備・助走

～全てのステークホルダーから「選ばれる会社」へ～

免責事項と著作権

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみで全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控え下さいますようお願い致します。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願い致します。

●お問合せ

責任者：(株)ヨロズ 常務執行役員
担当：(株)ヨロズ 経理部 主担

矢後 敏之
劉 雪輝

T E L 045-543-6802

YOROZU

Copyright © YOROZU Corporation